

## 派遣留学体験報告書（オンライン留学）

|                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 参加年度（出発年度）                       | 2020年度   |
| オンライン留学先国                        | カンボジア  |
| オンライン留学先大学                       | 王立ブノンペン大学  |
| プログラム開始日                         | 2020年9月1日  |
| プログラム終了日                         | 2021年7月31日   |
| 今回の留学にかかった費用                     | 0円   |
| 留学の目的とその達成度合                     | <p>・現地の学生と交流すること。☑</p> <p>→グループワークや課題の添削をしてもらった中で複数の学生と連絡を取り合い、コミュニケーションを取れた。☑</p> <p>☑</p> <p>・学術的な内容をカンボジア語で学び、カンボジア語の運用能力を高めること。☑</p> <p>→チャットで行われる授業はリーディング能力が必要とされ、比較的理解度が高かったが、音声で行われる授業はリスニング能力が必要とされ、聞き取れないこともしばしばあった。</p> |
| 留学を通して得たもの（スキル、経験）               | <p>チャットのみや、音声のみの授業で、先生や生徒の顔が見えず、コミュニケーションが取りづらい状況であった。また、姿が映らないので自分が参加していることを現地の学生たちに認識してもらったことも初めは難しかった。その中でも、授業内容の解説を頼んだり、課題の添削を頼んだり、自分からクラスメイトに声をかけるようにしたこと、仲間に入れてもらえるようになっていった。この積極性はオンライン留学だからこそ身についたスキルではないかと感じている。</p>      |
| 留学先大学への支払い方法                     | -  |
| 履修した科目                           | クメール文化、クメール文学、西洋文学、中国文学、文法（カンボジア語）   |
| 授業内容                             | <p>Microsoft teamsを使用し、音声のみの授業を行うものと、telegramを使用し、クラスのグループチャットで授業を行うものの2種類あった。☑</p> <p>どちらも、先生が解説をする時間がほとんどであり、たまに先生に質問された時に回答するという流れであった。どの授業もほぼ毎回宿題が出され、その出来栄が評価に大きく影響していると感じた。</p>  |
| 授業の開講時間および現地時間との時差               | 9:00から12:00（時差2時間）   |
| 外大の授業との両立について                    | <p>外大の授業を週6コマ、留学先大学の授業を週4コマ（1コマ3時間）履修。☑</p> <p>留学先大学の課題は多かったが、外大の授業をあまり取っていなかったため、両立できた。</p>   |
| 授業内容やプログラム全体に対する感想               | <p>現地の学生たちの顔が見えない授業であったため、初めは孤独感を覚えた。しかし、友達ができると、授業中もチャットを送って気にかけてくれたり、授業時間外に宿題を手伝ってもらったりと交流ができて嬉しかった。☑</p> <p>現地へ赴いてホームステイ等ができなかったことは悔やまれるが、オンライン留学も貴重な経験だったと感じている。</p>   |
| 現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について       | 上記のような機会はなかった  |
| 交流活動の具体的内容                       | -  |
| プログラムに対する満足度<br>（10段階：低1～高10）    | 6  |
| その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）   | -  |
| 今後の予定について教えてください。                | 派遣（交換）留学プログラム終了  |
| 「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。 | -  |
| 今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど           | -  |